

鹿島市議会 令和4年9月定例会 市長提案理由説明（抜粋。長崎本線関連）

【はじめに】

私が市長に就任して4か月が経過しようとしております。これまで、5月臨時会、6月定例会を経まして、議会の皆様、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、少しずつ、市長としての私の考えを市政運営に反映させるよう職員とともに取り組んできたところでございます。皆様におかれましては、今後も引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【肥前鹿島駅周辺イベントについて】

さて、今月23日に西九州新幹線が開業することに伴い、本市を取り巻く鉄道公共交通は大きく変わります。長崎本線（肥前山口～諫早間）は、上下分離方式による運行となり、普通列車は、通勤通学等の配慮から増便されるものの、特急列車は上下45本から14本に大幅に減便され、名称も「かもめ」から「かささぎ」となり運行を開始することになります。

本市としましては、これまで様々な思いを乗せて運んでくれた特急かもめに感謝し、これから沿線地域が発展していくための、新たなスタートとなる9月23日に佐賀県、沿線4市町が連携したイベントを肥前鹿島駅周辺で行います。

イベントテーマは『イロトリドリの魅力発信フェス@肥前鹿島駅』、サブ

タイトルとして『未来をもっとカラフルに』です。

マチには、自然、歴史、伝統、文化など、都会にはない「イロ（魅力）」がたくさんあります。そこにしかない魅力です。在来線には、車窓に広がる豊かな風景や時間など新幹線では得がたい魅力があります。

このようなマチのイロ（魅力）や在来線が持つイロ（魅力）を様々な発信することで、多くの方に長崎本線を利用していただくこと、その地を訪れていただくことのきっかけとしたいと考えております。

長崎本線は、全線開通して今年で88周年となります。今後もその歩みを進めていくためには、先ほど申し上げました取組を継続的に進めていくことが必要です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、このイベントの内容は、9月号市報やホームページ等に掲載していますのでご覧ください。

交通体系の整備に関しましては、これまでも広域道路ネットワークの整備促進など関係機関との協力を軸として進めてまいりましたが、今後は、新幹線沿線や長崎本線沿線の自治体とこれまで以上に連携を強化し、通勤通学の利便性確保・維持や観光面での交流などに力を入れていく所存でございます。

この9月が、鹿島市のさらなる飛躍の節目となるよう取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。